

令和8年度 第1回 いちき串木野市行政改革推進委員会 議事録

- 日 時：令和8年8月5日（水）10：00 ～ 11：15
- 場 所：いちき串木野市役所 串木野庁舎三階 第一委員会室
- 出席者：委 員：上野誠、小原文子、久木山純広、黒武者和浩、住廣和信
立石長男、堤信行、本房徹郎、羽根田正、満菌健士郎、和田雅子
事務局（総務課）：長畑課長、福丸課長補佐、松田係長、田上主事
- 欠席者：委 員：上野ひろみ、上山将司、上荒磯光司

【会次第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 委員の交代
- 4 担当職員の紹介
- 5 協議
 - （1）第四次行政改革大綱推進計画令和7年度実績報告
 - （2）その他
- 6 閉会

【資料】

1. いちき串木野市行政改革推進委員会規則及び委員名簿
2. 第四次行政改革大綱推進計画 令和7年度実績報告
3. 令和7年度行政改革効果額
4. 行政改革（5ヵ年）の成果

●主たる協議内容

「(1) 第四次行政改革大綱推進計画令和7年度実績報告」について事務局説明

事務局	(資料2により全体的な成果、概要の説明)
事務局	(資料2・3・4により個別の説明)
委員	推進項目「事務事業の見直し」における目標額の設定は、高すぎるのではない か。また、推進項目「徴収率の向上」における効果額は大きく目標額を上回って いるが、要因はなにか。
事務局	事務事業の見直しについては、令和元年度に全ての事務事業の見直しを行い、 3年毎に見直しを行うこととしていたが、2回目の見直しについてはコロナの影 響を受け、市民サービスの確保のため行わなかった経緯がある。 徴収率の向上については、当初の目標設定の際、令和元年度の実績を参考に設 定している。設定当初より改善された結果、目標額を大きく上回る結果となった。
委員	本市の国民健康保険税は高いのではないかと。高齢者や個人事業主にとっては負 担になる。
事務局	市単独で決定していたものを県全体で調整することと、現在は以前と比べ減額 している。
委員	積極的に人口増につながる項目を計画の中に入れるべきではないか。
事務局	人口減少対策については、本計画の中では触れていないが、3つの無償化など 市として取組は行っている。 行政改革計画は、最小限の経費で効果的な組織を目指すものであり、本計画は 役割を終えたものとして今後策定はしないが、市の総合計画について今年度策定 の計画を行っており、その中で人口増対策については取り組んでいきたいと思う。
委員	8月1日の新聞で大崎町の55億のふるさと納税額が紹介されていたが、本市で ももう少し努力し、目標額を大幅に上げて欲しい。
事務局	ふるさと納税は貴重な財源であるため、シティーセールス課において引き続き 確保に努めていきたい。
委員	中途退職者・普通退職者が見受けられるが職場環境において問題があるのでは ないか。
事務局	職場環境については、各課ヒアリング等を通して総務課で体制を整えていき たい。
委員	職員が生きがいを持てる給与体系が必要ではないか。
事務局	今年度より係長職、補佐職において、賞与の加算率の見直しを行った。今後も 職員のやりがいを感じる職場づくりに努めていきたい。
委員	カスハラ対策のマニュアルについて、進捗を教えてほしい。
事務局	国のマニュアル等を参考にしながら、9月末策定を目指し、案を作成してい るところである。また、電話対応策についても10月以降の導入に向けて検討し ている。
委員	公共予約システムについて具体的にどの施設に導入したのか。
事務局	現在、総合体育館、三井串木野グラウンド等のスポーツ施設、中央公民館、市 来地域公民館や交流センター等17施設に導入をしている。
委員	定員管理計画と民間委託の推進について関連性が強いと思うが、所管課が分か

	れているためにうまく機能していないのではないか。
事 務 局	民間委託については、この5年間で取組を行う中で費用対効果を考え、効果が大きく出ていないところである。今後も指定管理等を検討していく。
委 員	窓口時間の短縮について目的と施行期間中の効果について教えて欲しい。
事 務 局	目的としては、職員の働き方改革と窓口担当部署の勤務時間短縮による人件費削減である。効果としては、会計年度任用職員において勤務時間の短縮を行い、人件費削減を行ったところである。

(2) その他

事務局から今後の予定について説明